

愛媛県電子納品チェックソフトウェアエラーメッセージ集

Version 7.0.001.001

愛媛県土木部

情報・ファイル構成

メッセージ	出力例	原因	対処方法
[情報] 要領(案)[◎◎]は検査されていません。	[情報] 要領(案)[デジタル写真管理情報基準(案)]は検査されていません。	成果品に納品フォルダ(管理ファイル)がない場合に、表示されます。 この場合、要領(案)の自動判別では、「XML存在しません」と表示されます。	納品ファイル自体が存在しない成果品ではエラーではありません。 その場合、修正の必要はありません。
[情報] フォルダ[◎◎]は検査されていません。	[情報] フォルダ[PHOTO]は検査されていません。	検査時のオプション(STEP3)で、フォルダに対する検査を外した場合に、表示されます。	検査時のオプション(STEP3)で、フォルダに対する検査のチェックを外さずにチェックすることで発生しません。
○枚目のCDにある成果品はルートに格納されていません。	1枚目のCDにある成果品はルートに格納されていません。	CDのルートに、何らかのフォルダが作成されていて、その中にINDEX_C.XML及び納品フォルダが格納されています。	CDルート直下に成果品を格納して下さい。
DTDファイル(○○)が存在しません。	納品ファイル(INDE_D04.DTD)が存在しません。	成果品に指定のDTDファイルが格納されていません。	DTDを格納して下さい。
納品フォルダ(○○)が存在しません。	納品フォルダ(BORING)が存在しません。	INDEX_CXML(INDEX_D.XML)にフォルダ名が記述されているが、成果品に納品フォルダが存在しません。	フォルダの有無、XMLの記述を確認して下さい。 フォルダの存在必要ない場合は、XML中から該当フォルダの記述を削除してください。
○○が存在しません。	BORING¥BORING.XMLが存在しません。	インデックスファイルにフォルダの記述があり、実際にフォルダも存在しているが、フォルダ内に管理XMLファイルが存在しないときに表示されます。	インデックスファイルから情報を削除し、実際のフォルダも削除してください。
ファイル名(○○)が規約外です。ファイル名は(○○)です。	ファイル名(C0PL001Z.sfc)が規約外です。 ファイル名は(半角英数大文字 1桁以上12桁以内)です。	成果品のルートあるいはフォルダに、ファイル名が要領(案)に準拠していないファイル(文字数オーバー、使用文字)が格納されています。	要領(案)のファイル名命名規則に従って、ファイル名の修正して下さい。特に英字は小文字の使用はできません。
フォルダ名(○○)が規約(○○)外です。	フォルダ名(aaaaaaaaa)が規約(半角英数大文字 1桁以上8桁以内)外です。	成果品のルートあるいはフォルダに、フォルダ名が要領(案)に準拠していないフォルダ(文字数オーバー、使用文字)が格納されています。	要領(案)のフォルダ名命名規則に従って、フォルダ名の修正して下さい。
【注意】XMLに記載のないフォルダ(○○)が存在します。	XMLに記載のないフォルダ(REPORT)が存在します。	各種管理XMLファイルに納品フォルダの記述はないが、実際にフォルダが格納されている場合に表示されます。	フォルダは必要かどうか、或はXMLファイルに記述漏れかどうかを確認して下さい。 基本的に要領案で決定されているフォルダ以外が存在する場合表示されます。既定以外のフォルダは作成しないでください。
○枚目のメディアの△△の内容が、○枚目のメディアの△△と一致していません。	1枚目のメディアのPHOTO.XMLの内容が、2枚目のメディアのPHOTO.XMLと一致していません。	複数枚の成果品CDで、納品データが複数のCDに跨る場合、同じXMLを格納する必要があり、異なったCDに格納されたXMLの内容が違います。	複数のCDに同じXMLを格納するように、修正して下さい。
エラー件数が指定制限値を超えたため、チェック処理を中断しました。	(同エラーメッセージ)	総エラー数が環境設定で指定されている制限数に達した時に表示されます。 環境設定にて「制限しない」を選択している場合もエラー件数が20000に達した時点で本メッセージが表示され、チェックは停止します。	【注意】件数は中断カウントに含まれませんので、エラーを修正し、本メッセージが表示されないようにしてください。
【注意】XMLファイル(○○)が存在しませんが、納品フォルダ配下にフォルダが存在します。	XMLファイル(DRAWING.XML)が存在しませんが、納品フォルダ配下にフォルダが存在します。	注意メッセージです。 納品フォルダにXMLがありませんが、(左記例ではDRAWING)フォルダにフォルダが格納されています。	本来、対象のフォルダに何らかのフォルダが存在する場合、管理ファイルであるXMLの存在は必須となるはずですが、管理ファイルを作成し、納品フォルダの内容を記述するか、納品フォルダの格納フォルダを見直してください。

情報・ファイル構成

メッセージ	出力例	原因	対処方法
<p>【注意】XMLファイル(OO)が存在しませんが、納品フォルダ配下にファイルが存在します。</p>	<p>XMLファイル(DRAWING.XML)が存在しませんが、納品フォルダ配下にファイルが存在します。</p>	<p>注意メッセージです。 納品フォルダにXMLがありませんが、(左記例ではDRAWING)フォルダにファイルが格納されています。</p>	<p>本来、対象のフォルダに何らかのファイルが存在する場合、管理ファイルであるXMLの存在は必須となるはずで す。 管理ファイルを作成し、納品ファイルの内容を記述するか、納品ファイルの格納フォルダを見直してください。</p>
<p>ファイル名(Thumbs.db)が規約外です。</p>	<p>【ファイル構成】ファイル名(Thumbs.db)が規約外です。 ファイル名は(半角英数大文字 1桁以上12桁以内)です。</p>	<p>Windowsエクスプローラを使ってハードディスク内の納品用のフォルダを「縮小版」形式で表示したためです。</p>	<p>Windowsエクスプローラは「縮小版」形式で表示すると、隠しファイル「Thumbs.db」を作成します。 隠しファイルを表示するよう、Windowsエクスプローラ設定を変更し、表示された「Thumbs.db」を削除してください。</p>

XML構成

エラーメッセージ	出力例	原因	対処方法
■ 共通メッセージ			
XMLファイルが存在しません。	DRAWING*DRAWING.XMLが存在しません。	通常XMLがない場合、要領(案)の自動選択では、「XMLファイルがありません」と表示されます。要領(案)選択で強制的に要領(案)を選択すると、チェック結果に表示されます。	—
値が指定されていません。 △△ は必須入力です。	値が指定されていません。 縮尺 は必須入力です。	必須入力項目に、内容が記述されていません。	必須項目に、必ず要領(案)の規定に従って内容を記述して下さい。
使用文字に誤りがあります。赤字の文字は使用できません。 使用できる文字は ◎◎です。	<予備>○○○○(△△△) グループ </予備> 使用文字に誤りがあります。赤字の文字は使用できません。 使用できる文字は 全角文字半角英数字 127桁以内 です。	文字桁数、禁則文字等が使用されています。 禁則文字は、赤字で表示されます。	要領(案)の規定に従って、使用できる文字で記述して下さい。 出力例では、全角英数字、半角カタカナ等の禁則文字が使用されている、或は文字桁数に問題があることを示します。
データ表記形式に誤りがあります。 表記形式は ◎◎ です。	データ表記形式に誤りがあります。 表記形式は '[ライフサイクル1桁][整理番号1桁][図面種類2桁][図面番号3桁][改訂履歴1桁].SFC' です。 データ表記形式に誤りがあります。 表記形式は '工事','測量','調査','地質','広報','設計','その他' です。	XMLファイルに記載されているファイル名、形式が要領(案)の規定形式と一致しません。	要領(案)の規定に従って、表記形式で記述して下さい、出力例では、図面ファイル名の命名規則、或は記述できる内容に合致していないことを示します。
値に誤りがあります。 指定できる値は ◎◎ です。	(例1) 値に誤りがあります。 指定できる値は '半角数字12桁固定。1～5桁は執行機関番号、6～8桁は年号年度(平成は4)、9～12桁は施工番号' です。 (例2) 値に誤りがあります。 指定できる値は BORING.XMLに記入されている経度_度と一致 です。	XMLファイルに記載されている値が県の規定或は要領(案)の規定と一致しません。	要領(案)の規定に従って、値を記述して下さい。 出力例1は、工事番号、或は設計書コードの桁数が県の規定の12桁ではありません。 出力例2は、チェックされたXMLに記述されたある項目の値がBORING.XMLにある同じ項目の値と合致していません。
日付形式に誤りがあります。日付形式は ◎◎ です。	日付形式に誤りがあります。 日付形式は 'yyyy-mm-dd' です。	日付の記述が「2010-02-15」の形式になっていません。	要領(案)の規定に従って、日付形式を記入して下さい。
△△(◇◇)より前の日付です。	履行期間-着手(2010-04-01)より前の日付です。	後の日付が前の日付よりも若い内容が記述されています。	日付の前後を確認し、記述を修正して下さい。
インデックスファイルに記述されている期間外の日付が記入されています。	(同エラーメッセージ)	INDEX*.XMLに記載されている日付の期間外の日付が記入されています。 (例:INDEX_C.XMLの工期開始日・終了日が「2009-05-01」～「2009-7-31」の場合、PHOTO.XMLの撮影年月日が「2009-08-10」だと、工期範囲外のためエラーとなります。)	日付を確認し、記述を修正して下さい。
同じ値 ◎◎ が記述されています。	<シリアル番号>1</シリアル番号> 同じ値 1 が記述されています。	シリアル番号など、要領(案)ではユニークな番号を記述すると規定されている項目に、同じ値が入力されています。	要領(案)の規定に従って、重複しない、ユニークなシリアル番号で記述して下さい。
値に誤りがあります。指定できる値は ◎◎ ～ △△ の範囲です。	値に誤りがあります。指定できる値は 32 ～ 34 の範囲です。	入力された値の範囲に誤りがあります。	要領(案)の規定に従って、正しい範囲を記述して下さい。

XML構成

エラーメッセージ	出力例	原因	対処方法
文字数に誤りがあります。文字数は ◎◎ 桁固定です。	文字数に誤りがあります。文字数は 8 桁固定です。	記述した値の文字数が規定を満たしていません。	要領(案)の規定に従って、正しい文字数で記述して下さい。
文字数に誤りがあります。文字数は ◎◎ 桁以上 △△ 桁以内です。	文字数に誤りがあります。文字数は 1 桁以上 64桁以内です。	記述した値の文字数が規定を満たしていません。	要領(案)の規定に従って、正しい文字数で記述して下さい。
文字数に誤りがあります。バイト数は ◎◎ 桁固定です。	文字数に誤りがあります。バイト数は 8 桁固定です。	記述した値のバイト数(半角文字数)が規定を満たしていません。	要領(案)の規定に従って、正しいバイト数(半角文字数)で記述して下さい。
文字数に誤りがあります。バイト数は ◎◎ 桁以上 △△ 桁以内です。	文字数に誤りがあります。バイト数は 1 桁以上 64桁以内です。	記述した値のバイト数(半角文字数)が規定を満たしていません。	要領(案)の規定に従って、正しいバイト数(半角文字数)で記述して下さい。
文字数に誤りがあります。文字数は整数部 ◎◎ 桁固定、小数部 △△ 桁固定です。	文字数に誤りがあります。文字数は整数部 8 桁固定、小数部 3 桁固定です。	記述した値の桁数が規定を満たしていません。	要領(案)の規定に従って、正しい文字桁数で記述して下さい。
文字数に誤りがあります。文字数は整数部 ◎◎ 桁固定、小数部 △△ 桁以上 ◇◇ 桁以内です。	文字数に誤りがあります。文字数は整数部 8 桁固定、小数部 1 桁以上 3 桁以内です。	記述した値の桁数が規定を満たしていません。	要領(案)の規定に従って、正しい文字桁数で記述して下さい。
文字数に誤りがあります。文字数は整数部 ◎◎ 桁以上 △△ 桁以内、小数部 ◇◇ 桁固定です。	文字数に誤りがあります。文字数は整数部 1 桁以上 8 桁以内、小数部 3 桁固定です。	記述した値の桁数が規定を満たしていません。	要領(案)の規定に従って、正しい文字桁数で記述して下さい。
文字数に誤りがあります。文字数は整数部 ◎◎ 桁以上 △△ 桁以内、小数部 ◇◇ 桁以上 ○○ 桁以内です。	文字数に誤りがあります。文字数は整数部 1 桁以上 8 桁以内、小数部 1 桁以上 3 桁以内です。	記述した値の桁数が規定を満たしていません。	要領(案)の規定に従って、正しい文字桁数で記述して下さい。
文字数に誤りがあります。バイト数は整数部 ◎◎ 桁固定、小数部 △△ 桁固定です。	文字数に誤りがあります。バイト数は整数部 8 桁固定、小数部 3 桁固定です。	記述した値の桁数が規定を満たしていません。	要領(案)の規定に従って、正しいバイト桁数(半角数値桁数)で記述して下さい。
文字数に誤りがあります。バイト数は整数部 ◎◎ 桁固定、小数部 △△ 桁以上 ◇◇ 桁以内です。	文字数に誤りがあります。バイト数は整数部 8 桁固定、小数部 1 桁以上 3 桁以内です。	記述した値の桁数が規定を満たしていません。	要領(案)の規定に従って、正しいバイト桁数'半角数値桁数)で記述して下さい。
文字数に誤りがあります。バイト数は整数部 ◎◎ 桁以上 △△ 桁以内、小数部 ◇◇ 桁固定です。	文字数に誤りがあります。バイト数は整数部 1 桁以上 8 桁以内、小数部 3 桁固定です。	記述した値の桁数が規定を満たしていません。	要領(案)の規定に従って、正しいバイト桁数(半角数値桁数)で記述して下さい。
文字数に誤りがあります。バイト数は整数部 ◎◎ 桁以上 △△ 桁以内、小数部 ◇◇ 桁以上 ○○ 桁以内です。	文字数に誤りがあります。バイト数は整数部 1 桁以上 8 桁以内、小数部 1 桁以上 3 桁以内です。	記述した値の桁数が規定を満たしていません。	要領(案)の規定に従って、正しいバイト桁数(半角数値桁数)で記述して下さい。
ファイル名に誤りがあります。文字数はベース名 ◎◎ 桁固定、拡張子 △△ 桁固定です。	ファイル名に誤りがあります。文字数はベース名 8 桁固定、拡張子 3 桁固定です。	記述したファイル名の桁数が左記の規定を満たしていません。	要領(案)の規定に従って、正しいファイル名を記述して下さい。
ファイル名に誤りがあります。文字数はベース名 ◎◎ 桁固定、拡張子 △△ 桁以上 ◇◇ 桁以内です。	ファイル名に誤りがあります。文字数はベース名 8 桁固定、拡張子 1 桁以上 3 桁以内です。	記述したファイル名の桁数が左記の規定を満たしていません。	要領(案)の規定に従って、正しいファイル名を記述して下さい。
ファイル名に誤りがあります。文字数はベース名 ◎◎ 桁以上 △△ 桁以内、拡張子 ◇◇ 桁固定です。	ファイル名に誤りがあります。文字数はベース名 1 桁以上 8 桁以内、拡張子 3 桁固定です。	記述したファイル名の桁数が左記の規定を満たしていません。	要領(案)の規定に従って、正しいファイル名を記述して下さい。

XML構成

エラーメッセージ	出力例	原因	対処方法
ファイル名に誤りがあります。文字数はベース名 ◎◎ 桁以上 △△ 桁以内、拡張子 ◇◇ 桁以上 ○○ 桁以内です。	ファイル名に誤りがあります。文字数はベース名 1 桁以上 8 桁以内、拡張子 1 桁以上 3 桁以内です。	記述したファイル名の桁数が左記の規定を満たしていません。	要領(案)の規定に従って、正しいファイル名を記述して下さい。
ファイル名に誤りがあります。バイト数はベース名 ◎◎ 桁固定、拡張子 △△ 桁固定です。	ファイル名に誤りがあります。バイト数はベース名 8 桁固定、拡張子 3 桁固定です。	記述したファイル名の桁数が左記の規定を満たしていません。	要領(案)の規定に従って、正しいファイル名を半角文字記述して下さい。
ファイル名に誤りがあります。バイト数はベース名 ◎◎ 桁固定、拡張子 △△ 桁以上 ◇◇ 桁以内です。	ファイル名に誤りがあります。バイト数はベース名 8 桁固定、拡張子 1 桁以上 3 桁以内です。	記述したファイル名の桁数が左記の規定を満たしていません。	要領(案)の規定に従って、正しいファイル名を半角文字記述して下さい。
ファイル名に誤りがあります。バイト数はベース名 ◎◎ 桁以上 △△ 桁以内、拡張子 ◇◇ 桁固定です。	ファイル名に誤りがあります。バイト数はベース名 1 桁以上 8 桁以内、拡張子 3 桁固定です。	記述したファイル名の桁数が左記の規定を満たしていません。	要領(案)の規定に従って、正しいファイル名を半角文字記述して下さい。
ファイル名に誤りがあります。バイト数はベース名 ◎◎ 桁以上 △△ 桁以内、拡張子 ◇◇ 桁以上 ○○ 桁以内です。	ファイル名に誤りがあります。バイト数はベース名 1 桁以上 8 桁以内、拡張子 1 桁以上 3 桁以内です。	記述したファイル名の桁数が左記の規定を満たしていません。	要領(案)の規定に従って、正しいファイル名を半角文字記述して下さい。
指定されている納品ファイル(△△)がフォルダ(◎◎)に存在しません。(XML或いはファイル、フォルダ名を確認して下さい)	指定されている納品ファイル(REP01_01.DOC)がフォルダ(REPORT¥ORG)に存在しません。(XML或いはファイル、フォルダ名を確認して下さい)	管理ファイル(例:REPORT.XML)に記述した納品ファイルが納品フォルダに存在していません。	XMLに記載したファイル名が実際の納品フォルダに存在しているかを確認して下さい
成果品内のDTDファイル(◎◎)の内容が、検査する対象要領のDTDファイル(△△)と一致しません。	成果品内のDTDファイル(MEET03.DTD)の内容が、検査する対象要領のDTDファイル(MEET03.DTD)と一致しません。	成果品に格納されているDTDファイルの内容とチェックソフトが保有している内容と違います。	DTDが古いのか、内容が変更された可能性があります。最新のDTDを使用して下さい。
XMLファイル(◎◎)のXML構成に誤りがあります。XMLファイルを確認して下さい。	XMLファイル(DRAWING.XML)のXML構成に誤りがあります。 XMLファイルを確認して下さい。	XMLの記述に誤りがあり、DTDと一致していません。 通常は、以下のような内容も表示されます。 XMLファイルに誤りがあります。 ファイル名:file:///C:/Documents-10728980280and-10728980280Settings/G221/My-10728980280Documents/成果品/935070059/Data/DRAWING/DRAWING.XML エラーコード:-1072898028 行:24 桁:12 データ:<追加対象工種-数値>001</追加対象工種-数値>	XMLファイルがDTDの規定通りに作成されているかを確認して下さい。
外部XMLファイル(◎◎)が存在しない為、データを参照する事が出来ません。	<シリアル番号>2</シリアル番号> 外部XMLファイル(C:¥Documents and Settings¥C221¥My Documents¥チェック結果 ¥200411110228¥Data¥MEET¥.¥PHOTO¥PHOTO.XML)が存在しない為、データを参照する事が出来ません。	打合せ簿に指定している関連資料(PHOTO.XML)が成果品データに存在してない場合、表示されます。	関連資料の指定が正しいかを確認して下さい。
■ 工事管理ファイル関係メッセージ			
1～5桁目に記入されている値は愛媛県の執行機関番号のいずれとも一致しません。	(同エラーメッセージ)	成果品の工事番号の先頭5桁が必ず愛媛県の執行機関番号と一致していません。	愛媛県の執行機関番号を確認し、工事番号の先頭5桁を修正して下さい。
同様の記述がOTHERS.XMLの”その他オリジナルファイルフォルダ名”にありません。	(同エラーメッセージ)	INDEX_C.XMLに記述されているが、OTHERS.XMLには”その他オリジナルファイルフォルダ名”が記述されていない場合に発生します。	INDEX_C.XMLに記述されるサブフォルダ名をOTHERS.XMLにも同様のフォルダを記述するかINDEX_C.XMLの記述を確認して下さい。

XML構成

エラーメッセージ	出力例	原因	対処方法
■ 緯度経度関係メッセージ			
緯度、経度が愛媛県の範囲を超えています。愛媛県の領域の範囲は以下のとおりです。 緯度:0325305~0341806 経度:1320045~1334135	(同エラーメッセージ)	経度緯度が愛媛県の範囲を超えています。	正しい愛媛県域の範囲の緯度、経度を記述して下さい。エラーメッセージでは、愛媛県域の範囲を示しています。
「西側と東側」「北側と南側」の座標を入れ間違えている可能性があります。確認の上、記入してください。	(同エラーメッセージ)	西側境界座標経度の値が東側境界座標経度の値より小さいです。	西側境界座標経度の値と東側境界座標経度の値を確認して下さい。
データ表記形式に誤りがあります。表記形式は'分と秒は00~59で記入'です。	[西側境界座標経度] <西側境界座標経度>1323770</西側境界座標経度> データ表記形式に誤りがあります。 表記形式は'分と秒は00~59で記入'です。	緯度経度の分、もしくは秒に00~59以外の数値が記入されています。	正しい緯度、経度を記述してください。
■ 報告書関係メッセージ			
【注意】ファイル(◎◎)の最大サイズを超えています。最大サイズは(△△)MB以下です。	[REPORT01.PDF] [報告書ファイル名] <報告書ファイル名>REPORT01.PDF</報告書ファイル名> 【注意】ファイルの最大サイズを超えています。最大サイズは(20)MB以下です。	納品ファイルのサイズが大きいために発生します。	報告書PDFは20MBまでで作成する必要があります。
報告書ファイル名(REPORTnn.PDF)のnnと報告書オリジナルファイル名(REPnn_mm.XXX)のnnが一致していません。	(同エラーメッセージ)	報告書ファイル名とオリジナルファイル名の整合性が合わない場合エラーとします。 (例:REPORT01.PDFのオリジナルファイル名にREP03_01.PDFを使用している場合、報告書番号が異なるためエラーを出します。)	正しい報告書ファイル名とオリジナルファイル名の組み合わせで記述して下さい。
■ 打合せ簿関係メッセージ			
下位(もしくは上位)打合せ簿シリアル番号に指定されているシリアル番号が存在しません	(同エラーメッセージ)	下位打合せ簿(もしくは上位打合せ簿)のシリアル番号の指定が間違っています。	下位打合せ簿(もしくは上位打合せ簿)のシリアル番号を確認し、正しいシリアル番号を記述して下さい。
■ 工事その他資料関係メッセージ			
同様の記述がINDEX_C.XMLの"その他オリジナルファイルフォルダ名"にありません。	(同エラーメッセージ)	OTHR.XMLに記述されるサブフォルダ名は、INDEX_C.XMLに同様のフォルダを記述する必要があります。	OTHR.XMLに記述されるサブフォルダ名をINDEX_C.XMLにも同様のフォルダを記述するようにして下さい。
同様の記述がINDEX_EC.XMLの"その他オリジナルファイルフォルダ名"にありません。	(同エラーメッセージ)	同上	OTHR.XMLに記述されるサブフォルダ名をINDEX_C.XMLにも同様のフォルダを記述するようにして下さい。
同様の記述がINDEX_MC.XMLの"その他オリジナルファイルフォルダ名"にありません。	(同エラーメッセージ)	同上	OTHR.XMLに記述されるサブフォルダ名をINDEX_C.XMLにも同様のフォルダを記述するようにして下さい。
■ 図面関係メッセージ			
追加対象工種-数値に記載がありません。	(同エラーメッセージ)	追加対象工種-数値に、値が記述されていません。	基準(案)・要領(案)で規定されている以外の<対象工種-数値>を使用する場合は、必ずその値を<追加対象工種-数値>に記入する必要がありますので、記述して下さい。

XML構成

エラーメッセージ	出力例	原因	対処方法
図面種類に誤りがあります。図面種類は ◎◎ です。	図面種類に誤りがあります。 図面種類は 規定の図面種類或いは追加図面種類-略語の値です。	ファイル名の図面種類が基準(案)に規定された図面種類、あるいは追加図面種類の略語と一致しません。	基準(案)・要領(案)に規定された図面種類、或は追加図面種類の略語を記述して下さい。
記入された値「◎◎」は、対象工種に既に存在しています。	記入された値「GS」は、対象工種に既に存在しています。	追加図面種類略語に記述した値は、対象工種にある図面種類が記述されました。	対象工種にない記号を追加図面種類略語として使用して下さい。
◎◎に対する「対象工種-数値」に記載がない為、図面種類の検査を行うことが出来ません。	D0LC001Z.SFCに対する「対象工種-数値」に記載がない為、図面種類の検査を行うことが出来ません。	<図面ファイル名>の3,4桁目のアルファベットは図面種類を表しますが、使用することが可能な図面種類は、工種ごとに変化します。 本エラーは各<図面ファイル名>に対する<対象工種-数値>が未記入のため発生します。	相応しい工種番号をそれぞれの<対応工種-数値>に記入してください。
【注意】ファイル形式がSFCではありません。	【注意】ファイル形式がSFCではありません。	基準(案)・要領(案)では、電子納品に用いるCADの拡張子は原則SFCとされています。	SFCに変換された図面ファイルにて、電子納品成果品を作成しなおして下さい。
図面ファイルとSAFファイルの名称が一致しません。	(同エラーメッセージ)	8桁目までの図面ファイル名称とSAFファイル名称が一致していません。	8桁目までの図面ファイル名称とSAFファイル名称を合わせて記述して下さい。
ラスタファイルの名称が基準に沿っていません。	(同エラーメッセージ)	7桁目までの図面ファイル名称とラスタファイル名称が一致していません。	7桁目までの図面ファイル名称とラスタファイル名称を合わせて記述して下さい。
記述されているラスタファイル名の数と一致しません。	(同エラーメッセージ)	記述されているラスタファイル名の数と、実際のラスタファイル数が一致しません。	正しいラスタファイル数を記述して下さい。
■ 写真関係メッセージ			
【注意】ファイル(◎◎)の最大サイズを超えています。最大サイズは(△△)MB以下です。	[P0000001.JPG] [写真ファイル名] <写真ファイル名>P0000001.JPG</写真ファイル名> 【注意】ファイルの最大サイズを超えています。1枚あたりの容量は500KB程度です。	納品ファイルのサイズが大きいために発生します。	愛媛県要領(案)により写真サイズは500KB程度となっており、700KB以上の場合、注意メッセージを表示します。受発注者間協議により対処して下さい。
値が指定されていません。 撮影年月日 は必須入力です。	(同エラーメッセージ)	国土交通省平成18年1月、平成20年5月の要領(案)では、撮影年月日について必須ですが、撮影年月日が入力されていません。	平成18年1月、平成20年5月の要領(案)では、撮影年月日が必須と決められていますので、撮影年月日を入力して下さい。
写真-大分類が'工事'、写真区分が'品質管理写真'もしくは'出来形管理写真'の場合は必須記入です。	<工種></工種> 写真-大分類が'工事'、写真区分が'品質管理写真'もしくは'出来形管理写真'の場合は必須記入です。	写真の大分類が工事、写真区分が品質管理写真もしくは出来形管理写真の場合、工種は必須入力となります。	写真の大分類が工事、写真区分が品質管理写真もしくは出来形管理写真の場合、工種を必ず入力して下さい。
写真-大分類が'工事'、写真区分が'出来形管理写真'の場合は必須記入です。	<種別></種別> 写真-大分類が'工事'、写真区分が'出来形管理写真'の場合は必須記入です。	写真の大分類が工事、写真区分が出来形管理写真の場合、種別は必須入力となります。	写真の大分類が工事、写真区分が出来形管理写真の場合、種別を必ず入力して下さい。
■ 地質関係メッセージ			
コード1次、コード2次、コード3次のいずれか(もしくは全ての)値が緯度経度情報から算出される値と異なります。	(同エラーメッセージ)	BEDnnnn.XMLに記述されるコード1次、コード2次、コード3次の値は、緯度、経度情報より、決まった計算式で算出されず、これらの値が正しくありません。	計算式に関しては、要領(案)を参照して下さい。正しく計算して下さい。

XML構成

エラーメッセージ	出力例	原因	対処方法
「使用するX軸番号」または、「使用するY軸番号」は「軸番号」に記入されている値を記入してください。	(同エラーメッセージ)	TS*.XML内の<使用するX軸番号>もしくは<使用するY軸番号>にて発生するエラーで、記入されている値が、<軸番号>に記入されていないため発生します。	<軸番号>に値を記述して下さい。
【注意】最終深度は総掘進長以下でなければなりません。ただし、最終深度で標準貫入試験等の試験を実施している場合は問題ありません。	(同エラーメッセージ)	記述された最終深度の値が総掘進長の値より大きい場合に表示されます。ただし、最終深度で標準貫入試験等の試験を実施している場合は問題ありません。	最終深度の値と総掘進長の値を確認し、正しい値を記述して下さい。
「デジタル試料供試体写真ファイル名」に記入されているファイル名が要領(案)の命名規則に従っていません。	<デジタル試料供試体写真ファイル名>S0020001.JPG</デジタル試料供試体写真ファイル名> 「デジタル試料供試体写真ファイル名」に記入されているファイル名が要領(案)の命名規則に従っていません。	ファイル名の命名規則にあっていません。	ファイル名を要領(案)の規定通りに修正して下さい。
【注意】GRNDTST.XMLにデータシート交換用データ(TS*.XML)の記載がないためチェックを行っていません。TS*.XMLがない場合はエラーではありません。	(同エラーメッセージ)	TS*.XMLファイルのない場合表示されます。エラーではありません。	—
チェックを行っていません。GRNDTST.XMLに記載されている試験コード(◎◎)に該当する様式で記述されていません。	【TS001001.XML】 チェックを行っていません。 GRNDTST.XMLに記載されている試験コード(A1202)に該当する様式で記述されていません。	TS*.XMLが規定の試験コードの様式(DTD)に作成されていないため、チェックできません。	正しくTS*.XMLを作成して下さい。
チェックを行っていません。GRNDTST.XMLに試験コードが記述されていません。	【TS001001.XML】 チェックを行っていません。 GRNDTST.XMLに試験コードが記述されていません。	GRNDTST.XML内のTS*.XMLに対する<試験コード>に値が記述されたいないため、発生するエラーです。	<試験コード>に相応しいコードを記述してください。
〇〇 はファイル名の試料連番と一致しません。TSnnnmmm.XML の nnn と同じ値を記入してください。	【TS001001.XML】 <試料連番>001</試料連番> 001はファイル名の試料連番と一致しません。 TSnnnmmm.XML の nnn と同じ値を記入してください。	試料連番はTSnnnmmm.XML の nnn の値と一致していない場合に発生します。	TSnnnmmm.XML の nnn と同じ値を記入してください。
GRNDTST.XMLに記述されている◎◎に対応する「〇〇」の内容と一致しません。	【TS001001.XML】 <試験者>日本太郎</試験者> GRNDTST.XMLに記述されているTS001001.XMLに対応する「試験者」の内容と一致しません。	要領(案)ではGRNDTST.XMLに記入した「試験者」がTS001001.XMLに記入された試験者と一致する必要があります。この両者の値が一致していません。	一致した値を記入して下さい。
連番部分がフォルダ名の連番と一致しません。	(同エラーメッセージ)	電子土質試験結果一覧表ファイル名の連番部分と、TESTフォルダ内のフォルダの連番部分が一致していません。 (例：BORING*TESTの中のフォルダ名称がSIT0001で、電子土質試験結果一覧表ファイル名がSTB0002.PDFの場合)	一致した値を記入して下さい。
■ 測量関係メッセージ			
“測量区分”、“測量成果区分”のフォルダの組み合わせが測量情報管理ファイル(SURVEY.XML)の“測量記録フォルダパス名”、“測量成果フォルダパス名”及び“その他データフォルダパス名”に存在しません。	(同エラーメッセージ)	測量の地形、路線等のサブフォルダのXMLに記述される測量区分、測量成果区分或は測量細区分のフォルダの組み合わせが測量情報管理ファイル(SURVEY.XML)にある“測量記録フォルダパス名”、“測量成果フォルダパス名”に記述されていません。	測量成果フォルダパス名を記述して下さい。
“測量区分”、“測量成果区分”のフォルダの組み合わせが測量情報管理ファイル(SURVEY.XML)の“測量記録フォルダパス名”、“測量成果フォルダパス名”に存在しません。	(同エラーメッセージ)	測量の地形、路線等のサブフォルダのXMLに記述される測量区分、測量成果区分或は測量細区分のフォルダの組み合わせが測量情報管理ファイル(SURVEY.XML)にある“測量記録フォルダパス名”、“測量成果フォルダパス名”に記述されていません。	測量成果フォルダパス名を記述して下さい。

XML構成

エラーメッセージ	出力例	原因	対処方法
“測量区分”、“測量成果区分”及び“測量細区分”のフォルダの組み合わせが測量情報管理ファイル(SURVEY.XML)の“測量記録フォルダパス名”、“測量成果フォルダパス名”及び“その他データフォルダパス名”に存在しません。	(同エラーメッセージ)	測量の地形、路線等のサブフォルダのXMLに記述される測量区分、測量成果区分又は測量細区分のフォルダの組み合わせが測量情報管理ファイル(SURVEY.XML)にある“測量記録フォルダパス名”、“測量成果フォルダパス名”に記述されていません。	測量成果フォルダパス名を記述して下さい。
“測量区分”、“測量成果区分”及び“測量細区分”のフォルダの組み合わせが測量情報管理ファイル(SURVEY.XML)の“測量記録フォルダパス名”、“測量成果フォルダパス名”に存在しません。	(同エラーメッセージ)	測量の地形、路線等のサブフォルダのXMLに記述される測量区分、測量成果区分又は測量細区分のフォルダの組み合わせが測量情報管理ファイル(SURVEY.XML)にある“測量記録フォルダパス名”、“測量成果フォルダパス名”に記述されていません。	測量成果フォルダパス名を記述して下さい。
「測量区分」が「基準点測量」「水準測量」以外の場合は「99」以外を記入することはできません。	[SURVEY.XML] [等級] <等級>22</等級> 「測量区分」が「基準点測量」「水準測量」以外の場合は「99」以外を記入することはできません。	等級の値に誤りがあります。	「測量区分」が「基準点測量」「水準測量」以外の場合は「99」を記述して下さい。
「測量区分」が「◎◎」の場合は指定できる値は「△△」のいずれかです。	[SURVEY.XML] [等級] <等級>55</等級> 「測量区分」が「基準点測量」の場合は指定できる値は「10～14、21～24、99」のいずれかです。	等級の値に誤りがあります。	「測量区分」が「基準点測量」の場合は指定できる値は「10～14、21～24、99」のいずれかを記述して下さい。 各種測量区分の関係は要領案を確認して下さい。
◎◎ は必ず ○○ の組み合わせで納品する必要があります。	等高・等深線図データファイル(WT?B1???) は必ず JPGIS準拠(XML)+SFC もしくは 標準図式データファイル(DM)+SFC の組み合わせで納品する必要があります。	データファイル が JPGIS準拠(XML)+SFC もしくは 標準図式データファイル(DM)+SFC の組み合わせではありません。	正しい組み合わせで納品・記述して下さい。
対応するデータ「○○」が成果品中に存在しません。	対応するデータ「観測手簿」が成果品中に存在しません。	対応するデータが成果品中に存在しません。	対応するデータの測量成果情報を納品・記述して下さい。
■ 機械設備工事編関係メッセージ			
機器コードの記述が合っていない。10から14桁の半角英数字、[機器コード]が発生しない場合は「ZZ」を記入してください。	(同エラーメッセージ)	機器コードの入力に誤りがあります。	10から14桁の半角英数字、[機器コード]が発生しない場合は「ZZ」を記入して下さい。
工事完成図書の成果品においてサブフォルダを作成することは認められていません。サブフォルダは設計業務の成果品で使用場合があります。	工事完成図書の成果品においてサブフォルダを作成することは認められていません。サブフォルダは設計業務の成果品で使用場合があります。	最新の機械設備工事編の基準(案)・要領(案)ではDRAWINGF及びDRAWINGSフォルダの配下に任意のフォルダを作成することが可能に見えますが、サブフォルダの作成は、設計業務の成果品にのみ使用することが可能です。	工事完成図書でのサブフォルダの使用を取りやめてください。
「台帳フォルダ名」が未記入の場合は「0」で固定です。	「台帳フォルダ名」が未記入の場合は「0」で固定です。	エラーメッセージが示すように、<基礎情報>の<台帳フォルダ名>が未記入の場合は、必ず「0」を記入してください。	<基礎情報>の<台帳フォルダ名>が未記入の場合は、必ず「0」を記入して下さい。

PDFファイルチェック

分類	エラーメッセージ	出力例	原因	対処方法
しおり	しおりが存在しません。	(同エラーメッセージ)	しおりが作成されていません。	しおりを作成して下さい。
	リンクされていないしおりが存在します。	リンクされていないしおりが存在します。	リンクされていないしおりがあります。	しおりとページのリンクを作成して下さい。
セキュリティ	セキュリティが設定されています。 その為、他のチェックは実行できませんでした。	(同エラーメッセージ)	セキュリティ(パスワード)が設定されています。	セキュリティを解除して下さい。
ファイルの存在	チェック対象となるファイルが存在しません	(同エラーメッセージ)	報告書が成果品に含まれていない場合、このメッセージが表示されます。	—